

蒼

SOU

天

TEN

TYPE-MOON fan only book  
presented by OFAUT-R all staff  
[SOUTENCOUKI]  
CODE: [FABER]  
from [Fate/stay night]

KEYWORD: [knight]  
>courage  
>loyalty  
>generous  
>..."honor"

COU

KI

光

輝





OTAU'R PRESENTS  
Fate/stay night  
FAN BOOK  
FIRST MISSION  
CODE 「SABER」

# 蒼天光輝

||  
SOU  
TEN  
COU  
KI  
||



——体はペンで出来ている。(作家の端くれなら一度は言いたいネー)

皆様初めましてアンドお久し振りです。

血潮は糖分で、心は墮落。おたうT・Rの皇ハマオですー。

最近PCが調子崩したりOSが壊れたり大変でした。

んが、久々の新刊はまたも新しい食材が入荷されてまいりました。

おまちなね。Fate stay night。鮮度良好。

しかし制作時間がゲームプレイ含めて一ヶ月未満というのは

正直ツラかったです。1ヶ月間くらい毎日ゲームの雰囲気に入る、

くらいやらないと頭の中のイメージ(妄想)が深く生成してくれません。

つまりネタが練りきれません。く…致命的だ…(泣)。

昔は仕事しながら3ヶ月くらいかけて一本の作品を堪能しておりましたが、

最近はどうもいきません。てゆーかそんな悠長にやっつけられっか。

先が気になって夜も眠れんわ。そしてまた夜が明ける。

こんな日々。

てなわけでFate。いきなりぶっちゃけてしまえば

月姫のほうが面白かったのではないかという暴言を

発してしまうのですがそれは言論弾圧しておきまして、

未だ拙いイメージでFateを印象するは『男キャラに

萌えまくり』ということでしょうか。だめじゃん(笑)。

アーチャーに萌えまくりでランサーが好きでライダーが

たまらなくてキャスター姐さんがちよつと良くて当然

桜も好きで美綴姉さんも気になって大河がおいしくて

ギルの髪おろしく…が好きで柳洞くんにしなりと萌えて

凛は完璧超人(願不同)。なんだ結局どのキャラも好きなん

じゃないか(笑)。そんなばかなことばかり言っておりますが、

今回の本は聖杯戦争を駆け抜けた少女騎士、セイバーさんです。

詳しいところはまた後で独りごとりますからいいとして、

とにかくセイバーさんの無表情でありながら小動物のように

くるくるうごく姿に萌。凛々しく立ち振る舞うその姿に萌。

とかく魅力的要素はてんこもりやでしたが、惜しむらくは

兎にも角にも聖杯に始まり聖杯に終わった女性だったということです。

騎士であり王であり、聖杯戦争であり、それが全部でした。

もうすこし。聖杯戦争の後にもうすこしだけでも士郎との時間が

もらえていればきつと思われたいです。

騎士であり王であるセイバー。一応、今回のお話はそんなところを描いたつもりです。それでは恐縮ですが少々お時間をいただきましたと思います。





その佇まいは  
彼女が王であることを  
否応なく思い知らせて



声をかけることすら  
ためらわせた

見上げた朱い空に  
その騎士は居た

…セイバー





STAY



KNIGHT



ですから私は  
サーヴァント!!  
戦いを得ることこそ  
責務なのです!!

それを否定すると  
いうのは、例えれば  
剣という斬るために  
生まれた道具に対して  
斬るといふことを  
拒否するような  
ものです!!

…!!!  
だから  
そういうことを  
言っているんじゃないっ!!!

道具だとか…  
責務だとか…

ああもう!

少しは自分のことを  
考えろっていうんだ  
このわからずや!!



セイバーの方だろ!?

わからずや!?  
わからずやは  
どっちです!?

!?んな...!? バカな  
何を言うのですか!  
わからずやは  
シロウの方だ!!  
何度同じ事を言えば  
気が済むのか!!

だから俺も  
戦わないとは  
言っていない!  
サーヴァントが  
どんなものかも  
分かってる!

だけどお前が  
女の子だって  
いうのは  
事実だろう!!

あ、じゃあわたし  
もう部屋に戻るから  
戸締まりとが  
あとよろしくね

そういえば買い置き  
のティッシュが  
きれていたので  
補充しておいてね

おやすみー

ひしゅ





“騎士”とは――

いわば「精神」

その理想は

勇氣

忠誠

名譽とは公明正大の  
意味であり

義務への献身、  
清廉なる精神への道



寛大

そして――名譽

名譽こそ  
騎士に課せられ  
騎士に期待される  
全てを代表したもの  
なのです



……

名譽のための「賞賛」を  
受けられる…自分を試し  
勇氣の証しを立てられる  
ものこそが

『戦い』



「戦い」により遭遇する  
最大の危難は  
“不名誉”と“死”

それに直面し、  
克服する

理想の達成を  
果たせるのは  
この方法に  
よつてのみ

『己が身の  
理想を得るため  
生命を懸ける』  
それが——騎士

私は生を受けた  
ときから

男でもなく  
女でもなく

まず“騎士”と  
成りました

故にこの身に帯びる  
理想は…私の  
骨子なのです

戦わないと  
いう不名誉は

生きた屍と  
同じなのです



…そんな顔  
しないで下さい  
シロウ

私とて戦いを  
強要しているわけ  
ではないのです

心構え—

そう、私の心構えを  
お伝えしただけ  
ですから…

ではお先に  
失礼します

すっ

ふん…

ふん…

ふん…

びん

死に体、だな





フン





…こんな話を  
知っているか？

セイバーには  
ギネヴィアという  
妻がいた

真実その身は  
女であったにも  
かわらず、だ

それはなぜか？



…



ギネヴィアという女性  
はブリテンという国土を  
象徴する女性とされており

このとき  
彼女は「王」として  
「ブリテン」と「結婚」  
したのだ



…まあ

真なる処は  
誰にも分かん  
がね



それと気付かず異父姉に惹かれ  
モルドレッドを生ませたという  
話もある

行為自体はお抱えの  
魔術師が何とかした  
のだろうか…  
んん

意外や只の  
女色家だったの  
やも知れんな



…別に彼女を侮辱  
しているのではない

当時の事情など  
我々の理解の範疇では  
無いというだけの事だ



だがこれだけは  
肝に命じておけ

セイバーが  
その胸中に  
秘めてきた  
ものは

お前などが  
容易く手出し  
できるものではない  
ということ







だが君には

あれぐらいの方が  
良いのかもしれないな

…セイバー



何…やっているんだ  
こんな所で…?

シロウ…



セイバー!



夕陽を…  
みていました



—そらみる

ゴッソ



最初は心を  
引き締めるために  
みていたのですが…

おかしい  
ですね

こいつは—



いつのまにか—  
美しさに  
見惚れていました

こんな笑顔が  
できるヤツなんだ—



シロウ？



…





俺はあ!!  
ただ女の子が  
傷付くのを見たく  
ないだけだっ!!



騎士だろうが  
王様だろうが  
英霊<sup>リウセント</sup>だろうが  
そんなの関係ない

セイバーが戦って  
ぼろぼろになる姿  
なんて考えるだけで  
ガマンならない!!

だからできれば  
戦わせたくない!!

エゴだろうが  
自分勝手だろうが  
それだけだっ!!  
文句あるかっ!?





# セイバーの日常

目覚まし時計

日高 空









毛系のパンツ



ひめこらう

ふわ



うおおお  
セイバーの  
スカートが

冬の女の子の  
必需品だと  
凛が教えて  
くれました

…遠返…





I am the love of my sword  
Have you ever loved anything  
You will never love anything  
So as I printed blade work.

# 夢の 続きを。

セイバーさんを描くにあたって狙っていたことは「セイバー・グッドエンド」の創作だったのですが、あえなく玉砕しました。それというのも、セイバーさんについての情報を固めるたびに作られていったイメージは『騎士であり王であるセイバー』だったわけでした（それについては今回描きましたが）、セイバーが士郎とねんころになり

「自分の大切にしていたもの＝国」のことを忘れなければならぬわけ、士郎ではそこまでセイバーのナカに入れなかったというわけです。ゆーか士郎はセイバーのことが好きなのですが、まだまだ恋愛の段階としては「恋」の段階でして、一方のセイバーは恋とかの自覚全くなし。二人がその先に進むためにはまだまだ時間が必要だったわけですよ。だけど二人の時間は始まりも終わりも

聖杯戦争でしかなくて、それが可能になりませんでした。惜しいです。口惜しいです。悔しいです。二人はこれからだったのですが、だからセイバールートエンド後は物足りなさが残りましたね。セイバーが自分の向かってきた道に誇りを持ってたということでFateはまとまってしまうから、その先を見てみたかった気持ちもあります。セイバーエンド後の士郎が妙にさっぱりしていたのも、そのせいだといふふうにみえますね。士郎もセイバーも全てを捨てるほどお互いを求めるところまでいければよかったです。残念。

ですから、桜ちゃんには惹かれますよね。聖杯戦争と一緒にそこそこばっちりえがいていますから。内容自体は辛いです（笑）。やっぱり人の間柄は年季、ということでしょうかね？やるな桜。

色々言いましたが、用はセイバーさんの牙城を崩すのは簡単ではないという事なのです。がんばれ士郎。



こんなシーンも  
みれたかも  
しれません。



てゆーかセイバーさんがオンナノコだって誰も気付かなかったってゆーのはいくらなんでも無茶だと思う。長い語りは割愛するとしても、あの魅力的な女の子はセイバーの素なわけで、アーサー時代の側近、そうでなくても小さいころ一緒に育ったとされてるカイさんなんかはとくに気付いていたのではないかな。あまり部下とふれあったりはしてなかったのだから、気付いていながらも黙認していた、とか。

そのあたりも描いてみたいので、マーリンや円卓の騎士の絵柄ください。カイとかガウエインとかランスロットとか。

# [SOUTENCOUKI]

2004.03.14 発行  
 発行者:おたうT-R  
 印刷:㈱プロス様  
 禁!無断転載・複製



<http://www7.ocn.ne.jp/~hamao/>  
[ham-otr@joy.ocn.ne.jp](mailto:ham-otr@joy.ocn.ne.jp)



BGM:今日の食卓

んなわけであとがきです。  
 とにかくFateについて語り始めるとうるさそうなので  
 今回はセイバーさんに限定して作りました。  
 もつとつとみたいキャラは山といるので、  
 今後もFate本だしてうるさく独りこつていこがとか  
 企んでいます。どうかおつきあいくださいます。  
 読んでいただいてありがとうございます。  
 皇ハマオでした。

2004.3



そういえば言い忘れており  
 ましたが、今回描いた作品は  
 アーチャー×セイバーの  
 ようにもみられますが、  
 そういうわけではありません。  
 アーチャーの心中はもつと  
 フクザツなものだと思うので。  
 あとは、



だそうです。  
 この辺も描いて  
 みたいなあ。  
 別に次回予告では  
 ありませんが(笑)。

— I am the bone of my sword  
 Steel is my body and fire is my blood  
 I have created over a thousand blades  
 Unknown to Death  
 Nor known to Life  
 Have withstood pain to create many weapons.  
 Yes, those hands will never hold anything.  
 So as I pray, unlimited blade works.



セイバーさん  
モテすぎ

無名剣士も  
 ゴスロリ趣味も  
 金ピカも  
 ノーマーシューレットエフブラックも  
 ノーサンキューです。

Fate/stay night fan only book  
 [SOUTENCOUKI]  
 presented by OTAUT-R all staff